2022 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科 | 医療総合学科 | | 科目 | 区 | 分 | 専門基礎分野 | 授業の方法 | | 講義 |
|------|--------------|----------------|-------|------|---------|--------|-----------|----|------------|
| 科目名 | 身体のしくみとはたらきⅡ | | 必修/這 | 選択の | D別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 30 | (1) 時間(単位) |
| 対象学年 | 1年 | | 学期及 | び曜日 | 寺限 | 前期 | 教室名 | | 406 |
| 担当教員 | 加藤智久 美 | ミ務経験と の関連資格 | 臨床工学技 | 支士とし | _て病 | 院に勤務 | | | |

《授業科目における学習内容》

人体の構造と機能を有機的に繋ぎ、系統的に各器官の位置関係、形状、内部構造、そして器官の機能、人体における役割を 系統的に学ぶ。

《成績評価の方法と基準》

出席および課題提出状況、筆記試験で総合的に評価する。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

新 医療秘書医学シリーズ 2 基礎医学

《授業外における学習方法》

解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。

《履修に当たっての留意点》

解剖生理学ワークブックを事前にしておいて下さい。講義範囲はテキストを読んでおいて下さい。講義終了毎に確認テスト又は小レポート提出があります。

| | 業の法 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 | |
|----------|------|--------------------------------------|--|-----------------|-----------------------|--|
| 第 1 回 | 講義形式 | 授業を 通じての 到達目標 | 解剖生理学で何を学ぶのか明確にすることができる。 人体の構造と区分、部位と器官について説明することができる。 | 新 医療秘書医 | 確認テストまたは小レポート | |
| | | 各コマに おける 授業予定 | 人体の構造と機能について、解剖学と生理学の歴史と現在、形からみた人体 | 学シリーズ 2 基礎医学 | | |
| 第 | 講 | 授業を 通にての 到達目標 器官について説明することができる | | 新 医療秘書医 | ゆ 部ニットナル 1・ | |
| 2 | 義形式 | 各コマに おける 授業予定 | 細胞の構造、細胞を構成する物質とエネルギーの生成、細胞膜の構造と機能、細胞の増殖と染色体、分化した細胞がつくる組織、機能からみた人体 | 学シリーズ 2 基礎医学 | 確認テストまたは小レ ポート | |
| 第 | 講 | 授業を 通じての 到達目標 | 骨格、関節、骨格筋について説明できる。 | 新 医療秘書医 | 確認テストまたは小レ ポート | |
| 3 | 義形式 | 各コマに おける 授業予定 | 骨格とは、骨の連結、骨格筋 | 学シリーズ 2 基礎医学 | | |
| 第 | 講 | 授業を 通じての 到達目標 | 背部・胸部・腹部の筋について説明できる。 | 新 医療秘書医 | 確認テストまたは小レ ポート | |
| 4 | 義形式 | 各コマに おける 授業予定 | 体幹の骨格と筋 | 学シリーズ 2 基礎医学 | | |
| 第 | 講義 | 授業を 通じての 到達目標 | 上肢の骨格と筋について説明できる。 | 新 医療秘書医 | 確認テストまたは小レ ポート | |
| <u>ы</u> | 形式 | 各コマに おける 授業予定 | 上肢の骨格と筋 | 学シリーズ 2 基礎医学 | | |

| | 授業の 方法 | | 内 容 | 使用教材 | 授業以外での準備学習 の具体的な内容 | |
|---------|-----------------|--|-------------------------------------|------------------|-----------------------|--|
| 第 | 講義 | 授業を 通じての 到達目標 | 下肢の骨格と筋について説明できる。 | 新 医療秘書医 | 確認テストまたは小レ | |
| 6 回 | 我形式 | 各コマに おける 授業予定 | 下肢の骨格と筋① | 学シリーズ 2 基礎医学 | 作品 / 入下または / TV ポート | |
| 第二 | 講義 | 授業を 通じての 到達目標 | 下肢の骨格と筋について説明できる。 | 新 医療秘書医 | 確認テストまたは小レ ポート | |
| 7 回 | 我形式 | 各コマに おける 授業予定 | 下肢の骨格と筋② | 学シリーズ 2 基礎医学 | | |
| 第 | 講義 | 授業を 通じての 到達目標 | 頭頸部の骨格と筋について説明できる。 | 新 医療秘書医 | 確認テストまたは小レ ポート | |
| 8 | 我 形 式 | 各コマに おける 授業予定 | 頭頸部の骨格と筋② | 学シリーズ 2 基礎医学 | | |
| 9 第 | 講義 | 授業を 通じての 対達目標 体の支持と運動について学び、説明できるようになる。 | | 」新 医療秘書医 | 確認テストまたは小レ | |
| | 形 各コマに おける 授業予定 | | 体の支持と運動 | 学シリーズ 2 基礎医学 | 作品 ノストまたは ハレポート | |
| 第 | 講義 | 授業を 通じての 到達目標 | 筋の収縮様式について学び、説明できるようになる。 新 医療秘書医 | | 確認テストまたは小レ | |
| 10回 | 我形式 | 各コマに おける 授業予定 | 筋の収縮様式 | 学シリーズ 2 基礎医学 | ポート | |
| 第 | 講 | 授業を 通じての 到達目標 | 情報の受容と処理について学び、説明できるようになる。 | 」 新 医療秘書医 | 確認テストまたは小レ ポート | |
| 11 | 義形式 | 各コマに おける 授業予定 | 情報の受容と処理(末梢) | 学シリーズ 2 基礎医学 | | |
| 第 | 講義 | 授業を 通じての 到達目標 体温とその調節について学び、説明できるようになる。 | | 新 医療秘書医 | 確認テストまたは小レ | |
| 12 回 | 我形式 | 各コマに おける 授業予定 | 体温とその調節 | 学シリーズ 2 基礎医学 | ポート | |
| 第 | 講義 | 授業を 通じての 到達目標 神経系の構造と機能について説明できる。 | | 新 医療秘書医 | 確認テストまたは小レ | |
| IS | 我形式 | 各コマに おける 授業予定 | 神経系の構造と機能、脊髄と脳 | 学シリーズ 2 基礎医学 | 作品/ グトまだは | |
| 男 14 | 講義 | 授業を 通じての 到達目標 | 脳の高次機能について説明できる。 | 新 医療秘書医 | 確認テストまたは小レ ポート | |
| | 我 形 式 | 各コマに おける 授業予定 | 脳の高次機能 | 学シリーズ 2 基礎医学 | | |
| 第 | 講義 | 授業を 通じての 到達目標 | 運動機能と下行伝道路について説明できる。 | 新 医療秘書医 | 確認テストまたは小レ | |
| 15回 | 義形式 | 各コマに おける 授業予定 | 運動機能と下行伝道路 | 学シリーズ 2 基礎医学 | 確認 プストまだは ホレポート | |